

妻なれば甚く氣の毒に思ひ卿がさる
淺見身になり給ふも素りどいへ

バ吾身の爲なるに此場に臨みていか
で見捨まらすべし卿再度御藩邸へ
還り難いぬ御心なれば妾も今より此
廊を脱出で贈と貧福生死と俱にしま
いらせんと言出ければ好ひ其志の
厚きを喜びさらば云々せんと事に托
して表にいで好の衣裳と吾妻に被せ
て男の形に粧束せ大門を免いで何處
ともなく立去りけり結城にて其翌朝好
が駆走の始末を聞て仕すましたりと笑坪に入り早速出仕して駿の御居間に至り留主居高須



好儀先日來吉原の遊里に通詰多くの盜金と使搭剰へ坐頭金といふ高利の金と借入て返金せざるより遂に坐頭より町奉行へ訴訟され困迫のあまり銀で買馴染みなる娼妓吾妻といふ者を連て何處へか身を離し行方知ず也候よ此事公儀に聞なば當家の瑕端然るに好と多仲の叔姪の間柄かゝる不体裁なる人物に留主居の大役を命ぜしハ叔なり家老なる多仲の不行居と申さんかされば多仲をこのまゝお置に成りてハ公儀へ對し且ハ一藩の政治にも關係わればとて好の罪科の爲に國勝手申附るハあまり過當の沙汰と思はれしが傍に侍りたる殿にハ結城の言と添へ尙様など多仲と惡様に執成しければ衆口金と繋かすの誠愛臣愛妾の舌頭に説惑はされ遂に其意に同じてやがて多仲の老職と免じ國勝手とぞ申附けられける花房も結城に言と添へ尙様など多仲と惡様に執成しければ衆口金と繋かすの誠愛臣愛妾の舌頭に説惑はされ遂に其意に同じてやがて多仲の老職と免じ國勝手とぞ申附けられける後室妙支院殿にハ此事聞し召れ杖柱とも思ふ多仲なれば如何にもして此儀を拒み元の通り老職の位致に置んものと日夜心を惱まし給へども駿の嚴命なれば致方なく奥老源左衛門と